令和６年度　出資団体評価シート

１　基本情報

団体名	株式会社　札幌振興公社	所管課	経）観光・MICE推進課
		記入者	担当　及川　電話　011-211-2376
基本財産	562,600千円	本市出資額	477,600千円　（出資割合　84.9%　）
設立年月日	昭和32年(1957年) 7月12日	出資年月日	昭和32年(1957年) 8月31日
設立・出資目的	公共用地の先行取得事業、不動産賃貸事業、児童遊園施設等の経営を行うことを目的に設立された。その後、平成10年12月に株式会社札幌交通開発公社を吸収合併し、藻岩山ロープウェイ等の事業を引き継いだ。 当初、公有地の先行取得を主な目的としていたが、現在は、不動産の賃貸、駐車場等の公益的事業の管理運営、観光・スポーツ施設の管理運営等を通じて都市機能の維持向上を図ることを目的としている。	沿革	昭和32年　会社設立 昭和60年　藻岩山ロープウェイ営業開始（※） 平成 8年　大倉山ジャンプ競技場等の管理開始 平成10年　㈱札幌交通開発公社と合併 平成23年　藻岩山ロープウェイリニューアル ※印は札幌交通開発公社の事業
代表者	代表取締役社長（常勤）　浦田　洋（市ＯＢ）		
主な出資者	① 札幌市 (84.9%)　② ㈱北洋銀行 (7.1%)　③ ㈱北海道銀行 (3.6%) ④ 北海道瓦斯㈱ (1.8%)　⑤ ㈱さっぽろテレビ塔 (1.6%)　⑥ 札幌商工会議所 (1.1%)		
団体所在地	〒060-0012　札幌市中央区北12条西23丁目２番５号SDC北12条ビル	電話	011-616-1601

２　実施事業（詳細については事業評価シート参照）

(1)　[No.]　[主要事業名]　（該当ページ）

[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]

① ジャンプ競技場等の管理運営（６ページ）	② 札幌駅周辺自転車等駐車場管理（７ページ）
ジャンプ競技場の指定管理等を通じて、ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、普及振興及び競技力の向上を図る。また、オリンピックミュージアムのリニューアル及びオリンピックミュージアムネットワークへの加盟を契機として、オリンピズムの普及啓発を図る。	指定管理者として札幌駅周辺の駐輪場の適切かつ円滑な管理を行う。
③ 大通周辺自転車等駐車場管理（８ページ）	④ 不動産賃貸・駐車場事業等（９ページ）
指定管理者として大通周辺の駐輪場の適切かつ円滑な管理を行う。	不動産賃貸については、札幌市の要請に基づいて建設したビル等の経営や公社所有地の有効活用を通じて、都市機能の向上に寄与する。直営駐車場について、地下鉄駅等の交通機関の要衝に位置しており、パークアンドライドを目的とした駐車場を中心に管理運営し、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を促すことに寄与する。
⑤ 藻岩山観光事業（１０ページ）	⑥ 料飲事業（１１ページ）
札幌の観光を代表する藻岩山は、その自然を生かした観光資源として、保全と活用によって魅力アップを一層促進し、市民には誇りと、観光客には喜びや、驚きを与える観光名所として重要な役割を担っていく。	さっぽろテレビ塔レストラン「ザ　ガーデン　サッポロ」、藻岩山レストラン「ザ　ジュエルズ」及び大倉山レストラン「ヌーベルプース大倉山」の３レストランを一体とし「SAPPORO VIEWTIFUL DINING」を銘打ったブランディングを行い、観光事業と連動した企画展開や広告宣言を活用し、ＰＲと集客施策を実施することにより観光振興に寄与する。
⑦	⑧

(2) 総支出に占める事業支出割合　87.0%　（主要事業支出合計 2,661,329千円 ÷ 総支出 3,059,474千円）

(3) 主要事業の有効性　（出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか）

評価	□ 十分出ている	■ 高める余地あり	□ 出ていない
理由	札幌の観光を代表する藻岩山や大倉山の魅力向上に努めたことは、本市の観光振興に寄与しており、札幌振興公社が行うその他各事業においても、出資・設立目的に対して一定の効果が出ているものと考えるが、今後、事業効果をより一層高めていく必要があると認識している。		

(4) 主要事業の質・量　（出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか）

評価	□ 実施されている	■ 一部見直す必要がある	□ 実施されていない
理由	主要事業については、出資・設立目的を達成するために必要な事業を実施していると認識しているが、今後も内容の工夫を求め、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある。		

３　団体職員・構成員等

令和6年4月1日現在(単位：人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					15
常勤取締役	4	0	2	0	
常勤監査役	0	0	0	0	
非常勤取締役	7				
非常勤監査役	2				
職員					200
常勤管理職	1	0	9	1	
常勤一般職	0	0	45	94	
非常勤職員	50				

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	16
20歳代	6	50歳代	12
30歳代	20	60歳代	0
平均年齢	40.7	歳	

役員の任期		
取締役	2	年
監査役	4	年
代表権のある役員の就任年月		
取締役	R6.6	
監査役	－	
職員総数の推移(人)		
R04.4.1時点	170	
R05.4.1時点	185	

4　財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区　分				R4年度決算	R5年度決算	（経常収入比）	（前年比）
財務状況	経常収入内訳		経常収入（a+f）	2,872,813	3,214,451	(100.0%)	(+341,638)
	損益計算書	営業	売上高（a）	2,780,836	3,166,904		(+386,068)
			営業費用（b）	2,765,794	3,059,474		(+293,680)
			うち販売費・一般管理費（c）	2,657,749	2,846,311	(88.5%)	(+188,562)
			うち人件費(d)	785,491	855,756	(26.6%)	(+70,265)
			営業利益（e）	15,042	107,430		(+92,388)
		営業外	営業外収益（f）	91,977	47,548		(▲ 44,429)
		当期純利益(g)		32,449	62,485		(+30,036)
	貸借対照表	資産(h)		12,763,810	12,870,931		(+107,121)
			流動資産(i)	1,097,009	1,187,270		(+90,261)
			固定資産(j)	11,666,801	11,683,662		(+16,861)
		負債(k)		10,442,625	10,487,261		(+44,636)
			流動負債(l)	2,138,579	1,468,897		(▲ 669,682)
			固定負債(m)	8,304,046	9,018,364		(+714,318)
		純資産(n)		2,321,185	2,383,670		(+62,485)
			資本金(o)	100,000	100,000		(0)
		借入金残高(p)		3,902,680	4,116,632		(+213,952)

R5年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	コロナ５類への移行に伴い、観光事業を中心に国内及びインバウンド需要が回復したことに加え、新規事業として北８西１再開発事業及びテレビ塔レストラン「ザ ガーデン」のオープンにより、前年と比較し売上が３億８，６００万円程増収する結果となった。
l	北８西１再開発事業に係るつなぎ資金手形借入（４２０百万円）の長期借入への振り替え及び、社債返済 に伴う手形借入（４００百万円）の長期借入への振り替えにより短期借入金が減少した。
m	上記、区分「l」と同様の要因により長期借入金が増加した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5　本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区　分	R4年度決算	R5年度決算	（前年比）
市補助金・交付金・負担金	3,230	2,764	(▲ 467)
市委託料	242,292	257,931	(+15,639)
市業務委託料	6,376	7,519	(+1,143)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	235,916	250,412	(+14,496)
うち非公募	0	0	(0)
（参考）再委託額	158,550	161,059	(+2,509)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(65.4%)	(62.4%)	(▲ 3.0%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
（参考）市施設利用料金収入	130,087	136,411	(+6,324)
うち非公募	0	0	(0)

6　財務指標に基づく評価

（金額単位：千円）

項　目		R4年度	R5年度	（前年比）	評価基準	備　考
⑴健全性	剰余金(n-o)	2,221,185	2,283,670	(+62,485)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	18.2%	18.5%	(+0.3%)	≧50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	51.3%	80.8%	(+29.5%)	≧150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	502.6%	490.2%	(▲12.5%)	≦100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	30.6%	32.0%	(+1.4%)	前年比較減	借入金残高÷資産
⑵生産性	職員一人当り経常収益	16,899千円	17,375千円	(+477千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	28.2%	27.0%	(▲1.2%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	15,634千円	15,385千円	(▲ 248千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	95.6%	89.9%	(▲5.7%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
⑶自立性	市依存度（収入）	0.1%	0.1%	(▲0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	13.1%	12.4%	(▲0.7%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

健全性の評価	□ 非常に高い	□ 高い	□ 概ね健全	■ やや低い	□ 低い

理由	
	健全性については、剰余金は評価基準を上回っているものの、それ以外の項目の自己資本比率、流動比率、固定比率、借入金依存度については評価基準を下回っており、新型コロナウイルス感染症の影響によるものもあるが動向を注視していく必要がある。 生産性については、全項目評価基準を満たしていることから評価できる。 自立性については、評価基準を満たしており、概ね自立性の高い状態が保たれていると判断される。

（注１）市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料（随意契約分）＋市指定管理費（非公募分）＋市施設利用料金収入（非公募分）

（注２）市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7　「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画（別冊子）を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1) 出資・出捐

○取組目標 No.	指標名		現状値（Ｒ２年度）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	備考
	○出資比率の引き下げについての検討						
①	市出資金（資本準備金を含む）	目標		477,600千円	477,600千円	477,600千円	
		実績		477,600千円	477,600千円	477,600千円	
		評価		達成	達成	達成	
②	出資比率の引き下げ検討	目標		引き下げ検討	引き下げ検討	引き下げ検討	
		実績		検討実施	検討実施	検討実施	
		評価		達成	達成	達成	

未達成理由と今後の対応（Ｒ５年度の評価が未達成の場合のみ記載する）

○総括評価	
	達成
	【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）
	出資比率の引き下げにあたっては、当該団体の財務への影響を考慮する必要があり、新型コロナウイルス感染拡大時の影響が完全に払拭されたわけではないため、引き下げのタイミングではないと判断した。 なお、今後も当該団体の経営状況を見ながら引き続き出資比率の引き下げについては検討していく。

(2) 人的関与

○取組目標 No.	指標名		現状値（Ｒ２年度）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	備考
	○最低限の人的関与の継続						
①	市職員派遣数	目標		0	0	0	
		実績	0	0	0	0	
		評価		達成	達成	達成	
②	役員の就任数（取締役）	目標		2	2	2	
		実績	2	2	2	2	
		評価		達成	達成	達成	

未達成理由と今後の対応（Ｒ５年度の評価が未達成の場合のみ記載する）

○総括評価

達成

【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）

札幌市と当該団体との密接な連携及び出資者としての経営責任の観点から、市職員の役員就任を通じた最低限の人的関与ができた。

(3) 団体の活用

○取組目標 No.	指標名		現状値（Ｒ２年度）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	備考
	○藻岩山、大倉山の利用者増						
①	藻岩山施設（ロープウェイ・観光道路）利用者数	目標		616千人	906千人	906千人	
		実績	384千人	368千人	656千人	783千人	
		評価		未達成	未達成	未達成	
②	大倉山施設（リフト）利用者数	目標		419千人	511千人	511千人	
		実績	257千人	151千人	347千人	399千人	
		評価		未達成	未達成	未達成	

未達成理由と今後の対応（Ｒ５年度の評価が未達成の場合のみ記載する）

令和５年度の目標値は新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を見込んでおらず、平常年度の目標となっているが、令和５年度も新型コロナウイルス感染症の影響が完全には払しょくされておらず、目標未達となっているが、回復傾向にあることから注視していき、適宜、目標達成に向けた取組を求めていく。

○総括評価

未達成

【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）

計画期間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少したことで未達成となっているが、令和５年度は回復傾向にあることから注視していき、適宜、目標達成に向けた取組を求めていく。

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標 No.	指標名		現状値（Ｒ２年度）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	備考
	○業務効率化による経費の削減						
①	一般管理費（人件費及び減価償却費を除く）	目標		1,247,251千円	1,408,083千円	1,405,112千円	
		実績	1,245,348千円	1,130,292千円	1,268,918千円	1,335,075千円	
		評価		達成	達成	達成	
②		目標					
		実績					
		評価					

未達成理由と今後の対応（Ｒ５年度の評価が未達成の場合のみ記載する）

○総括評価

達成

【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）

令和５年度は料飲部門の立ち上げ等により前年度に比べて微増となっているが、目標を達成しており、今後も業務効率化による経費の削減を求めていく。

(5) 団体統制

○取組目標 No.	指標名		現状値（Ｒ２年度）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	備考
	○社員の資質向上						
①	コンプライアンス研修の受講率	目標		100%	100%	100%	
		実績	100%	100%	100%	100%	
		評価		達成	達成	達成	
②	索道技術研修延べ参加人数	目標		16人	20人	20人	
		実績	16人	3人	11人	16人	
		評価		未達成	未達成	未達成	

未達成理由と今後の対応（Ｒ５年度の評価が未達成の場合のみ記載する）

○総括評価	
達成	
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）	
①に関しては計画期間全体を通じて達成していること、②に関しては令和４年度までは新型コロナウイルス感染症の影響を加味して、参加人数を調整していたため未達成となっているのはやむを得ない判断であったことから総括評価は達成とする。 しかし、②については令和５年度も未達成となっていることから目標達成に向けて研修参加人数を増やすよう求めていく。	

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標 No.	指標名		現状値（Ｒ２年度）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	備考
	○障がいのある方の自立支援						
①	障がいのある方の雇用人数	目標		3人(法定)	3人(法定)	3人(法定)	② 令和２年度実績及び令和３年度以降の目標数値は該当業務(単発)の発注件数としておりましたが、令和３年度実績の内訳は大倉山･藻岩山の両ﾚｽﾄﾗﾝにおいて新規でｸﾘｰﾆﾝｸﾞの年間委託契約を締結致しました。評価を「達成」とした理由は従前の基準件数では６件を超える委託料の計算となるためです。
		実績	２人	２人	２人	２人	
		評価		未達成	未達成	未達成	
②	障がい者就労施設からの物品調達・業務委託件数	目標		６件	６件	６件	
		実績	３件	２件	２件	１件	
		評価		達成	達成	達成	

未達成理由と今後の対応（Ｒ５年度の評価が未達成の場合のみ記載する）

①札幌市障がい者元気スキルアップ事業を活用する等、随時、求職者情報の収集と業務内容のマッチングを行っているが、法定人数を満たす採用には至っておらず、継続して採用活動を行っていく。

○総括評価	
未達成	
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）	
①札幌市障がい者元気スキルアップ事業を活用する等、随時、求職者情報の収集と業務内容のマッチングを行っているが、法定人数を満たす採用には至っていないため。 また、②についても締結件数としては目標値を下回っているため、更なる障がい者就労施設の活用を求めていく。	

８　情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	https://sapporo-dc.co.jp/
Eメールアドレス	なし

【経営状況等】
■ 定款　■ 役員名簿　□ 団体機構図　□ 事業計画書　□ 予算書
□ 事業報告書　■ 決算書　□ 中長期的な経営計画

【事業情報等】
■ 実施事業（イベント）情報　■ 管理施設情報
□ その他（　　）

ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：	パンフレット

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和６年7月1日現在のものです。

事業評価 （ 1 ） ジャンプ競技場等の管理運営

1．事業概要

事業所管課：	スポーツ局スポーツ部施設課	担当：	谷内	電話：	011-211-3045

(1)事業内容	①札幌市大倉山ジャンプ競技場 ②札幌市宮の森ジャンプ競技場 ③札幌市荒井山シャンツェ ④札幌オリンピックミュージアム ・施設、設備の維持管理 ・施設の利用供与 ・大型映像車貸出 ジャンプ大会、防災訓練、各種道内イベント等 ・イベントの実施(自主事業) 大倉山ウィンターフェスタの実施	市指定管理費(公募) 184,265
(2)事業目的	観光・スポーツ施設の管理運営等を通じて都市機能の維持向上を図るため	
(3)事業開始	①、②、③：平成8年（1996年）4月 ④：平成12年（2000年）4月 ※平成18年からは指定管理者として業務を継続	

2．実施結果

(1)事業収支（単位 千円） 項目	R4年度	R5年度	（前年比）
収入	260,002	300,591	(＋40,589)
(経常収益比)	(9.1 %)	(9.4 %)	
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
市指定管理費	174,936	184,265	(＋9,329)
市施設利用料金収入	50,259	57,697	(＋7,438)
自主事業収入（補助金除く）	18,236	49,228	(＋30,992)
その他収入	16,571	9,401	(▲ 7,170)
費用（支出）	286,323	312,700	(＋26,377)
事業費	258,187	280,146	(＋21,959)
管理費等	28,136	32,554	(＋4,418)
収支差	▲ 26,321	▲ 12,109	(＋14,212)
収支比率	90.81%	96.13%	(＋5.32%)

(2)活動指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ ｼﾞｬﾝﾌﾟ練習促進の為、ｼﾞｬﾝﾌﾟ台無料開放(7/1～10/20の金土日)	12日間	実施	10日間	実施
❷ ウインターフェスタの実施	実施	実施	中止	実施
❸ オリパラ教育の実施	実施(68校)	実施(76校)	実施(63校)	実施(63校)
❹				
❺				
❻				

(3)成果指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ リフト利用者数（延べ人数）	347,279	463,000	398,642	462,000
❷ ミュージアム来場者数	89,461	124,000	114,867	130,000
❸ ミュージアム来場者アンケート総合満足度	95%	97%	91%	95%
❹				
❺				
❻				

3．所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は □ 十分出ている ■ 高める余地あり □ 出ていない 札幌オリンピックミュージアムの来場者数について、目標値には達していないものの、令和４年度実績と比較し大きく増加している。また、市内の小学校63校へのオリパラ教育を実施しており、オリンピズムの普及に貢献していると評価できる。 大倉山ジャンプ競技場について、スポーツ体験イベントや展望台リフトの夜間営業を継続して実施するなど、スポーツの普及振興に資する取組を行うとともに観光資源としての施設活用にも力を入れていることは評価できる。今後も大倉山全体の魅力を高める施策を実施し、ジャンプ競技やウィンタースポーツの普及振興、観光振興に寄与していただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は □ 良好 ■ 見直しの余地あり □ 要改善 施設利用料金収入や自主事業収入が増加し、収支は改善しているものの、従前に引き続き赤字となっている。新たな顧客の開拓や、大倉山全体の魅力を高めることにより、来場者数の増加を図り、安定した施設の管理運営に取り組んでいただきたい。

事業評価 （ 2 ） 札幌駅周辺自転車等駐車場管理

1．事業概要

事業所管課：	建設局総務部自転車対策担当課	担当：	中居	電話：	011-211-2456

(1)事業内容	各種駐輪場の管理運営、駐輪場料金の収受	市指定管理費(公募) 13,200
(2)事業目的	駐輪場の適切かつ円滑な管理を通じた都市機能の維持向上を図るため	
(3)事業開始	平成19年度	

2．実施結果

(1)事業収支（単位 千円） 項目	R4年度	R5年度	（前年比）
収入	52,079	49,968	（▲ 2,111）
(経常収益比)	（ 1.8 % ）	（ 1.6 % ）	
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
市指定管理費	13,078	13,200	（＋122）
市施設利用料金収入	36,364	33,997	（▲ 2,367）
自主事業収入（補助金除く）	2,611	2,479	（▲ 132）
その他収入	26	292	（＋266）
費用（支出）	48,962	48,053	（▲ 909）
事業費	48,962	48,053	（▲ 909）
管理費等	0	0	(0)
収支差	3,117	1,915	（▲ 1,202）
収支比率	106.37%	103.99%	（▲ 2.38%）

(2)活動指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ 職員の意識統制による親切で丁寧なサービスの徹底	実施	実施	実施	実施
❷ 自転車等管理システムによる円滑で正確な管理体制の実践	実施	実施	実施	実施
❸ 定期券販売開始日等の繁忙期における人員増員（案内・整理・誘導対応）	実施	実施	実施	実施
❹ パンフレット・ポスター・ＷＥＢを利用した周知徹底	実施	実施	実施	実施
❺				
❻				

(3)成果指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ 有料駐輪場利用者数（定期利用）	5,563	4,500	5,278	5,300
❷ 有料駐輪場利用者数（一時利用）	148,578	143,000	156,952	157,000
❸ 有料駐輪場利用料金収入（千円）	36,364	36,043	33,997	34,597
❹ 利用者満足調査（※）	91%	100%	93%	100%
❺ ※（ホームページでのアンケート調査で運営管理について「良い」・「普通」・「悪い」の内「普通」以上と回答した割合）				
❻				

3．所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	■ 十分出ている □ 高める余地あり □ 出ていない
	施設の管理運営は適正に執行されており、アンケート結果からも利用者の満足度も概ね高く、安全・快適に利用できるよう管理されていることが見て取れる。	
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	■ 良好 □ 見直しの余地あり □ 要改善
	収入は昨年を下回ったが、消耗品費等のコストカットにより支出を抑え、結果としては黒字収支となっていることは評価できる。	

事業評価 （ 3 ） 大通周辺自転車等駐車場管理

1．事業概要

事業所管課：	建設局総務部自転車対策担当課	担当：	中居	電話：	011-211-2456

(1)事業内容	各種駐輪場の管理運営、駐輪場料金の収受	市指定管理費(公募) 30,182
(2)事業目的	駐輪場の適切かつ円滑な管理を通じた都市機能の維持向上を図るため	
(3)事業開始	令和４年度	

2．実施結果

(1)事業収支（単位 千円）

項目	R4年度	R5年度	（前年比）
収入	69,919	74,899	(＋4,980)
(経常収益比)	(2.4 %)	(2.3 %)	
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
市指定管理費	26,455	30,182	(＋3,727)
市施設利用料金収入	43,464	44,717	(＋1,253)
自主事業収入（補助金除く）	0	0	(0)
その他収入	0	0	(0)
費用（支出）	66,888	73,233	(＋6,345)
事業費	66,888	73,233	(＋6,345)
管理費等	0	0	(0)
収支差	3,031	1,666	(▲ 1,365)
収支比率	104.53%	102.27%	(▲ 2.26%)

(2)活動指標

		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶	職員の意識統制による親切で丁寧なサービスの徹底	実施	実施	実施	実施
❷	自転車等管理システムによる円滑で正確な管理体制の実践	実施	実施	実施	実施
❸	定期券販売開始日等の繁忙期における人員増員（案内・整理・誘導対応）	実施	実施	実施	実施
❹	パンフレット・ポスター・ＷＥＢを利用した周知徹底	実施	実施	実施	実施
❺					
❻					

(3)成果指標

		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶	有料駐輪場利用者数（定期利用）	7,018	5,500	6,044	6,100
❷	有料駐輪場利用者数（一時利用）	212,660	207,000	235,695	236,000
❸	有料駐輪場利用料金収入（千円）	43,464	46,986	44,717	44,840
❹	利用者満足調査（※）	98%	100%	99%	100%
❺	※（ホームページでのアンケート調査で運営管理について「良い」・「普通」・「悪い」の内「普通」以上と回答した割合）				
❻					

3．所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性

事業目的に対して事業の効果は ■ 十分出ている □ 高める余地あり □ 出ていない

施設の管理運営は適正に執行されており、アンケート結果からも利用者の満足度も概ね高く、安全・快適に利用できるよう管理されていることが見て取れる。

(2)収支状況

当該事業の収支状況は ■ 良好 □ 見直しの余地あり □ 要改善

収入は昨年を下回ったが、消耗品費等のコストカットにより支出を抑え、結果としては黒字収支となっていることは評価できる。

事業評価 （ 4 ） 不動産賃貸・駐車場事業等

1．事業概要

事業所管課：	経）観光・MICE推進課	担当：	及川	電話：	011-211-2376

(1)事業内容	①建物賃貸事業 ＳＤＣ北12条ビル、宮の沢ターミナルビル、 白石ガーデンプレイス、セレスタ札幌、 大谷地アドバンシービル（セカンドストリート等）、幌北綜合センター すすきの市場、山の手店舗（インポート・プラス） 新札幌薬局（クリオネ薬局）、さっぽろ創世スクエア 北14条複合店舗（オートバックス）、旧小熊邸（ドリーバーデン）など ②月極・時間貸し駐車場の運営 二十四軒、新札幌、大谷地、琴似 北14条、大谷地東、宮の沢（全てパークアンドライド実施）
(2)事業目的	直営駐車場においては、地下鉄駅等の交通機関の要衝に位置することから、パークアンドライドを目的とした駐車場が多い。従って、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を促すことを目的とする。
(3)事業開始	平成10年度

2．実施結果

(1)事業収支（単位 千円） 項目	R4年度	R5年度	（前年比）
収入	1,529,727	1,425,750	（▲ 103,977）
(経常収益比)	（ 53.2 % ）	（ 44.4 % ）	
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
市施設利用料金収入	0	0	(0)
自主事業収入（補助金除く）	1,467,654	1,408,862	（▲ 58,792）
その他収入	62,073	16,888	（▲ 45,185）
費用（支出）	1,144,347	1,071,764	（▲ 72,583）
事業費	1,144,347	1,071,764	（▲ 72,583）
管理費等	0	0	(0)
収支差	385,380	353,986	（▲ 31,394）
収支比率	133.68%	133.03%	（▲ 0.65%）

(2)活動指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ ﾃﾅﾝﾄに向けた不動産仲介会社との連携	実施	実施	実施	実施
❷ ホームページ等での駐車場案内	実施	実施	実施	実施
❸				
❹				
❺				
❻				

(3)成果指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ 直営駐車場（満車達成率）	68%	80%	70%	80%
❷ 賃貸ビル等（稼働率）	96%	100%	100%	100%
❸				
❹				
❺				
❻				

3．所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は □ 十分出ている ■ 高める余地あり □ 出ていない 直営駐車場の満車達成率が目標達成に至っておらず、ホームページ等での駐車場案内を継続して実施するとともに、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を図るために、更なる利用促進について取り組むよう求めていく。 なお、建物賃貸事業の稼働率は目標を達成したが、稼働立100%が維持できるようテナントや不動産仲介会社との連携について引き続き求めていく。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は ■ 良好 □ 見直しの余地あり □ 要改善 収支については改善傾向が続いており、良好な状況と考えられる。 今後も、経費削減に努めながら、安定的かつ継続的な収入を確保するために、賃料収入の増加のための施策を講じるなど、不動産及び駐車場の利用拡大の促進に努めていただきたい。

事業評価 （ 5 ） 藻岩山観光事業

1．事業概要

事業所管課：	経）観光・MICE推進課	担当：	及川・岩渕	電話：	011-211-2376

(1)事業内容	①藻岩山ロープウェイの経営 ②藻岩山観光道路の経営 ③藻岩山頂展望台の経営 ④藻岩山山頂レストラン「THE JEWELS」の経営 ⑤藻岩山スキー場ロッジの経営 ⑥藻岩山中腹売店の経営	市委託料(随意契約) 1,103
(2)事業目的	札幌の観光を代表する藻岩山は、その自然を生かした観光資源として、保全と活用によって魅力アップを一層促進し、市民の憩いの場として、また観光客で賑わう観光名所として重要な役割を担っていくことが求められている。従って、市民の藻岩山観光に対する再認識のための広告・営業活動・観光客誘致のための旅行代理店等に対する営業活動等を通して、更なる利用を促進させる。	
(3)事業開始	昭和60年(1985年) 8月	

2．実施結果

(1)事業収支（単位 千円） 項目	R4年度	R5年度	（前年比）
収入	696,540	728,674	(＋32,134)
(経常収益比)	(24.2 %)	(22.7 %)	
市補助金・交付金・負担金	0	1,650	(＋1,650)
市業務委託料	948	1,103	(＋155)
市指定管理費	0	0	(0)
市施設利用料金収入	0	0	(0)
自主事業収入（補助金除く）	685,032	710,058	(＋25,026)
その他収入	10,560	15,863	(＋5,303)
費用（支出）	659,472	598,216	(▲ 61,256)
事業費	659,472	598,216	(▲ 61,256)
管理費等	0	0	(0)
収支差	37,068	130,458	(＋93,390)
収支比率	105.62%	121.81%	(＋16.19%)

(2)活動指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ イベント回数	2回	2回	2回	3回
❷ 札幌市内小学校生徒等へのｲﾍﾞﾝﾄ告知（ﾁﾗｼ配布）	1回	1回	1回	1回
❸ 索道技術研修（外部主催）	4回	4回	10回	12回
❹				
❺				
❻				

(3)成果指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ 藻岩山施設利用者数(延人員)	693千人	808千人	783千人	861千人
❷ 市民割引利用者数（実人員）	23,302人	28,069人	19,942人	21,193人
❸				
❹				
❺				
❻				

3．所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は □ 十分出ている ■ 高める余地あり □ 出ていない 藻岩山施設利用者数について、目標達成には至らなかったが利用者数は増えていることから、引き続きサービスの向上や安全運行の強化に取り組むとともに、藻岩山全体の魅力向上を図ることにより、市民や観光客の満足度や利用率の向上へ繋がるを期待して高める余地ありとする。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は ■ 良好 □ 見直しの余地あり □ 要改善 昨年度と比較して、収入増、支出減となっており良好の状態にある。 道内外の観光客はもとより市民に対しても情報発信を行うことにより、利用率の向上を図り、安定的な収益の維持・向上に努めることを期待する。

事業評価 （ 6 ） 料飲事業

1．事業概要

事業所管課：	経）観光・MICE推進課	担当：	及川	電話：	011-211-2376

⑴事業内容	①藻岩山山頂レストラン「ザ ジュエルズ」 ②大倉山ジャンプ競技場内「ヌーベルプース大倉山」 ③さっぽろテレビ塔「ザ ガーデンサッポロ 北海道グリル」 ④さっぽろテレビ塔ビアガーデン（夏期限定） ⑤その他、各レストランに付随するカフェ、ケータリング業務
⑵事業目的	各レストランの所在地から「観光×レストラン」の事業特性を強みとし、【札幌のメインダイニング】としての認知拡充を図る。そして、その特性を生かした魅力を札幌から、観光客・インバウンドへ訴求する。
⑶事業開始	令和５年（2023年）４月１日

2．実施結果

⑴事業収支（単位 千円） 項目	R4年度	R5年度	（前年比）
収入	0	504,951	（＋504,951）
（経常収益比）	（ 0.0％ ）	（ 15.7％ ）	
市補助金・交付金・負担金		0	(0)
市業務委託料		0	(0)
市指定管理費		0	(0)
市施設利用料金収入		0	(0)
自主事業収入（補助金除く）		498,126	（＋498,126）
その他収入		6,825	（＋6,825）
費用（支出）	0	557,363	（＋557,363）
事業費		557,363	（＋557,363）
管理費等		0	(0)
収支差	0	▲ 52,412	（▲ 52,412）
収支比率	#DIV/0!	90.60%	#DIV/0!

⑵活動指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ 各レストランにおける毎月の衛生点検の実施		実施	実施	実施
❷ ＳＮＳを活用した広報・ＰＲの実施		実施	実施	実施
❸				
❹				
❺				
❻				

⑶成果指標	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
❶ 売上高		514,281	498,216	545,548
❷				
❸				
❹				
❺				
❻				

3．所管局による評価

⑴事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は □ 十分出ている ■ 高める余地あり □ 出ていない
	事業初年度ということもあり、支出が収入を上回っている状況にあるが、成果指標（売上高）の達成に向けて、広報・ＰＲに関する取組を求めていく。
⑵収支状況	当該事業の収支状況は □ 良好 ■ 見直しの余地あり □ 要改善
	道内外の観光客はもとより市民に対しても情報発信を行うことにより、利用率の向上を図り、安定的な収益の維持・向上に努めることを求めていく。

1 貸借対照表

令和6年3月31日現在

（単位：円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
Ⅰ 流動資産	**1,187,269,705**	**Ⅰ 流動負債**	**1,468,897,231**
現金・預金	824,937,455	短期借入金	501,000,000
売掛金	1,318,600	一年以内返済予定長期借入金	300,196,000
商品	21,768,164	買掛金	13,879,079
材料品	9,241,895	未払金	185,222,643
貯蔵品	61,870,907	未払費用	2,998,772
前払費用	34,956,313	未払消費税等	32,088,600
未収金	142,703,383	未払法人税等	1,410,000
仮払金	90,438,274	前受金	97,613,903
未収法人税等	34,714	預り金	17,375,703
Ⅱ 固定資産	**11,683,661,682**	仮受金	89,547,867
1 有形固定資産	**（11,301,865,929）**	リース債務	227,564,664
建物	4,001,995,893		
建物附属設備	739,451,085	**Ⅱ 固定負債**	**9,018,364,115**
構築物	330,914,109	長期借入金	3,315,436,000
機械及び装置	792,689,169	社債	500,000,000
器具備品	93,101,200	退職給付引当金	93,641,927
車両	12,050,590	預り敷金	876,678,332
リース資産	4,116,307,584	預り保証金	121,913,842
土地	767,550,567	リース債務	4,110,694,014
建設仮勘定	447,805,732		
2 無形固定資産	**（5,696,732）**	**負債合計**	**10,487,261,346**
電話加入権	2,475,662	**株主資本**	**2,383,670,041**
商標権	1,193,015	**1 資本金**	**100,000,000**
ソフトウェア	2,028,055	**2 資本剰余金**	**462,600,000**
3 投資その他の資産	**（376,099,021）**	資本準備金	462,600,000
差入保証金	353,068,002	**3 利益剰余金**	**1,821,070,041**
預託金	132,400	1)利益準備金	42,330,000
投資有価証券	8,001,000	2)その他の利益剰余金	1,778,740,041
保険積立金	207,600	固定資産圧縮積立金	204,687,761
長期前払費用	14,690,019	別途積立金	2,005,000,000
		繰越利益剰余金	△ 430,947,720
		純資産合計	**2,383,670,041**
資産合計	**12,870,931,387**	**負債及び純資産合計**	**12,870,931,387**

2 損益計算書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

（単位：円）

科目	金額	
Ⅰ 売上高		3,166,903,862
地代及び家賃収入	1,034,537,318	
駐車場収入	332,044,819	
受託料収入	246,368,158	
索道収入	693,491,933	
利用料金収入	165,130,549	
その他売上高	695,331,085	
Ⅱ 売上原価		213,163,030
売上総利益（△は損失）		2,953,740,832
Ⅲ 販売費及び一般管理費		2,846,310,932
営業利益（△は損失）		107,429,900
Ⅳ 営業外収益		47,547,505
受取配当金	170,000	
その他営業外収益	47,377,505	
Ⅴ 営業外費用		79,322,025
支払利息	67,280,435	
社債利息	1,852,167	
その他営業外費用	10,189,423	
経常利益（△は損失）		75,655,380
Ⅵ 特別利益		909
固定資産売却益	909	
Ⅶ 特別損失		11,761,028
固定資産除却損	11,761,028	
税引前当期純利益（△は損失）		63,895,261
法人税、住民税及び事業税		1,410,000
当期純利益（△は損失）		62,485,261